

2.南城市の概要及び観光基盤の条件等（観光マーケット調査）

南城市の観光の「今」を正確に把握するため、この調査は非常に地道な調査を必要とする。

（1）南城市の位置的特性等基礎事項

1）位置と地勢

南城市は、沖縄本島南部の東海岸、県都那覇市から南東へ約12kmに位置し、静穏な中城湾と太平洋に面している。

東西18km、南北8kmの広がりを持ち、面積は49.70km²で、北は与那原町、西は南風原町、八重瀬町にそれぞれ接している。

西側を除く三方が海岸線に接し、東部の海岸側は比較的平地が多く、海岸線に沿って集落が形成され、南部の海岸側は、台地上の地形に集落が形成されている。

東部および南部の海岸部の後方から西部地域にかけては、なだらかな傾斜地の中に耕地が点在している部分と比較的急峻な岩石の断崖となって連なっている部分があり、それらの頂上は、比較的広い台地で、ゴルフ場などの施設があるほか、原野、耕地が広がっている。

頂上から北部にかけては、豊かな緑に被われた丘陵地が海岸部にかけて広がっており、南城市の特徴的な地域景観を形成している。

北部の丘陵地から海岸部および西部にかけては比較的平坦な地形が広がり、市街地や集落が形成されている。

離島である久高島は、隆起サンゴ礁で平坦な地形をなし、島の南西端に集落がある。

南城市の位置

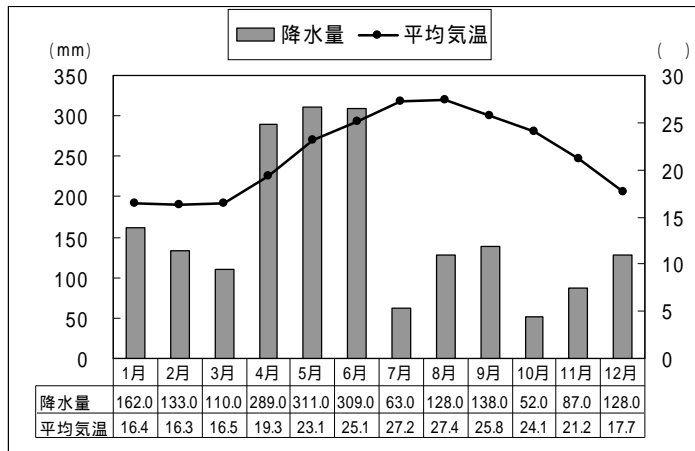


南城市の面積

南城市	49.70 km ²
旧玉城村	16.87 km ²
旧佐敷町	10.60 km ²
旧大里村	12.35 km ²
旧知念村	9.88 km ²

資料：南城市ホームページ

南城市の気象状況



資料：沖縄気象台

2) 歴史

歴史

琉球王国最初の統一王朝、第一尚氏王朝を成立させた「尚巴志」出生の地。

沿革

年 月 日		経 緯
1908年(明治41年)	4月1日	町村制施行に伴い、佐敷・知念・玉城・大里の「東四間切」も村に移行
1945年(昭和20年)		沖縄戦の終戦直後、避難民の収容地区として米軍指定で「知念市」誕生。翌年、村に戻る
1949年(昭和24年)		字与那原、上与那原・板良敷が大里村から分離、与那原町となる
1980年(昭和55年)		佐敷、町制施行
2003年(平成15年)	11月	南風原町・東風平町・大里村・具志頭村合併協議会設置
2003年(平成15年)	12月	佐敷町・知念村・玉城村・与那原町合併協議会設置
2004年(平成16年)	9月	南風原町・東風平町・大里村・具志頭村合併協議会解散
2004年(平成16年)	12月	佐敷町・知念村・玉城村・与那原町合併協議会解散
2005年(平成17年)	1月	佐敷町・知念村・玉城村・大里村合併協議会を設置
2005年(平成17年)	3月	新市名称を「南城市」に決定。合併協定書に調印
2006年(平成18年)	1月1日	南城市誕生

3) 人口・世帯

平成18年度12月末の住民登録人口及び世帯数によると、男性20,488人、女性20,177人、総数は40,665人となっている。

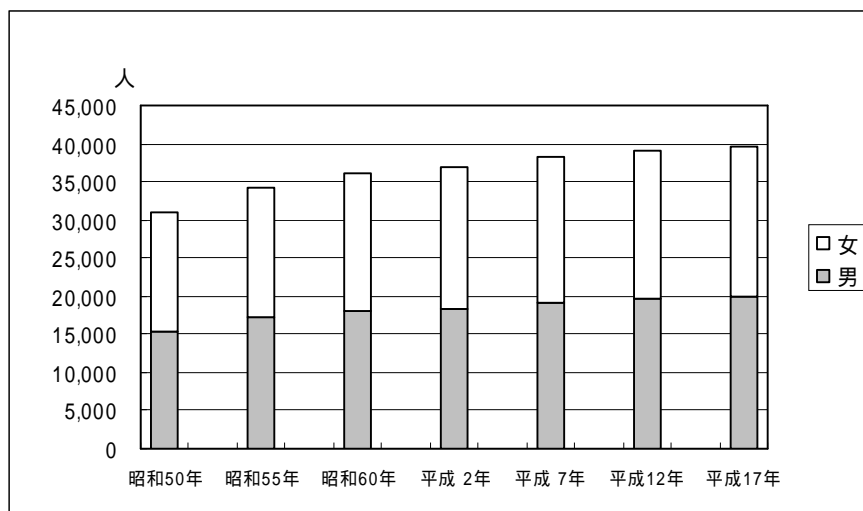
世帯数は13,395戸で、1世帯当りの人員は約3人となっている。

住民登録人口及世帯数

年次	世帯数 (戸)	人口(人)			1世帯当人員
		総数	男	女	
平成18年	13,395	40,665	20,488	20,177	3

資料：南城市ホームページ 南城市行政区別人口統計表（H18年12月末日現在）

人口の推移



資料：各年国勢調査結果による。
旧4町村の合計値

地区	人口		平成12年～17年の人口増加		面積 (km ²)	人口密度 (km ² 当たり)
	平成17年 2005	平成12年 (組換) 2000	実数	率(%)		
佐敷地区	11,456	11,401	55	0.5	10.6	1,080.80
知念地区	6,024	5,958	66	1.1	9.88	609.7
玉城地区	10,568	10,316	252	2.4	16.87	626.4
大里地区	11,603	11,455	148	1.3	12.35	939.5
合計	39,651	39,130	521	1	49.7	797.8

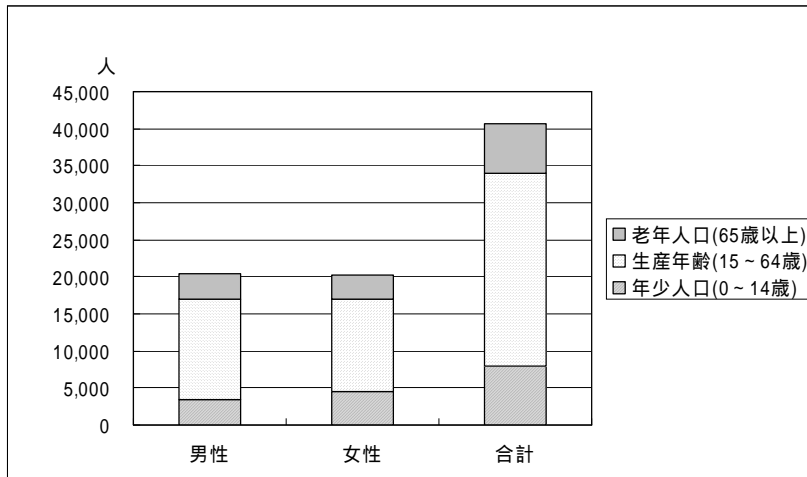
資料：平成17年度国勢調査結果による

人口動態

平成18年12月末現在

年次	人口増加数			人口動態		社会動態		婚姻	離婚
	総数	自然	社会	出生	死亡	転入	転出		
平成18年	93	47	140	330	283	1,747	1,887	780	187

年齢別階級人口



資料：南城市ホームページ 南城市年齢別人口（H18年12月末日現在）

行政区別人口

佐敷地区	世帯数	男	女	計	知念地区	世帯数	男	女	計
津波古	996	1,539	1,513	3,052	志喜屋	259	453	395	848
小谷	181	175	200	375	山里	106	147	134	281
新里	326	483	443	926	具志堅	58	93	86	179
兼久	134	222	208	430	知念	221	343	304	647
佐敷	217	330	337	667	吉富	49	64	63	127
手登根	300	472	451	923	久手堅	134	209	200	409
伊原	83	130	128	258	安座真	208	324	309	633
屋比久	125	183	205	388	知名	261	411	396	807
外間	61	87	83	170	海野	167	235	240	475
富祖崎	143	213	205	418	久原	148	269	253	522
仲伊保	188	280	282	562	久高	154	156	145	301
新開	455	672	680	1,352	計	1,765	2,704	2,525	5,229
つきしろ	284	409	406	815	大里地区	世帯数	男	女	計
県営新開団地	170	282	307	589	西原	60	76	87	163
県営新開第二団地	104	174	185	359	南風原	108	175	162	337
仲伊保団地	54	103	110	213	平良	105	174	174	348
計	3,821	5,754	5,743	11,497	嶺井	181	293	280	573
玉城地区	世帯数	男	女	計	嶺井団地	141	229	214	443
親慶原	428	674	683	1,357	古堅	113	159	147	306
垣花	162	233	244	477	福原	150	259	228	487
仲村渠	84	120	119	239	島袋	167	280	289	569
百名	291	429	466	895	当間	196	346	336	682
新原	78	100	109	209	仲程	161	259	272	531
玉城	57	93	90	183	大里団地	122	231	248	479
中山	74	113	124	237	高宮城	96	148	129	277
奥武	322	510	502	1,012	銭又	56	103	83	186
志堅原	135	229	220	449	平川	119	195	186	381
堀川	208	310	305	615	稲嶺	252	441	431	872
富里	118	185	180	365	大里グリーンタウン	659	1,038	1,077	2,115
富山	135	210	232	442	目取真	199	357	329	686
屋嘉部	207	232	245	477	湧稲国	135	214	199	413
系数	165	270	265	535	大城	267	464	448	912
喜良原	193	162	210	372	稲福	100	176	163	339
船越	380	665	638	1,303	真境名	80	133	126	259
愛地	256	413	436	849	大里第二団地	72	135	133	268
前川	355	588	522	1,110	大里ニュータウン	92	162	183	345
計	3,648	5,536	5,590	11,126	計	3,631	6,047	5,924	11,971
					合計	12,865	20,041	19,782	39,823

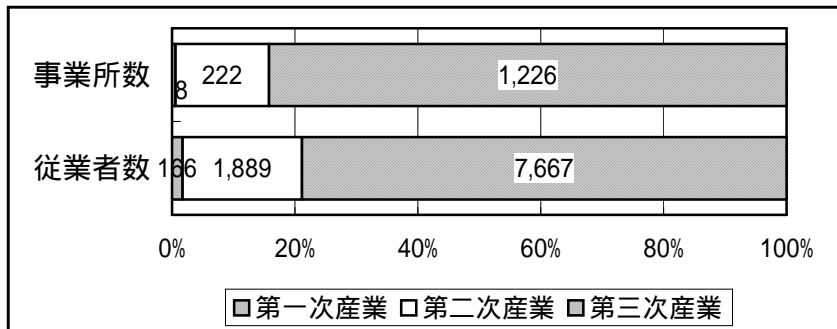
資料：南城市ホームページ 南城市行政区別人口統計表（H18年12月末日現在）

4) 産業

平成18年事業所・企業統計によると、産業人口の総数は9,722人となり、産業別の占める割合は、圧倒的に第3次産業が多くなっている。

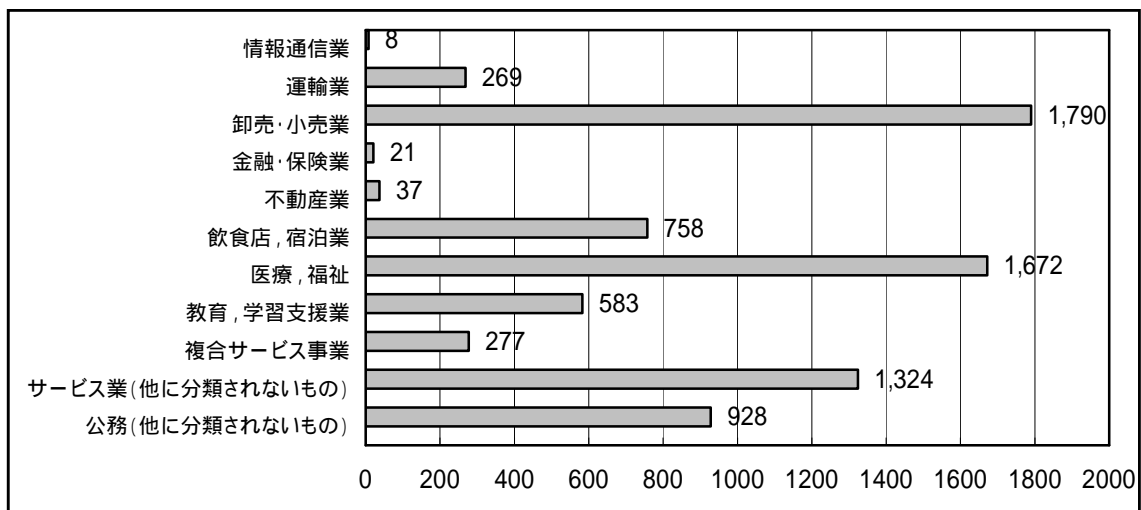
平成18年における第3次産業の内訳を見ると、卸売・小売業が1,790人と最も多く、次いで医療福祉の1,672人、サービス業1,324人となっている。

産業別人口



資料：平成18年事業所・企業統計調査都道府県別集計（総務省統計局）

第三次産業の内訳



資料：平成18年事業所・企業統計調査都道府県別集計（総務省統計局）

専兼業別農家数(販売農家)

単位:戸

地域別	計	専業農家	兼業農家	
			第1種 兼業農家	第2種 兼業農家
佐敷地区	162	48	27	87
知念地区	148	66	53	29
玉城地区	269	88	49	132
大里地区	401	130	77	194
計	980	332	206	442

資料：2005年農林業センサス

作付面積・収穫量(平成17年度)

単位(ha, t, %)

市町村	南城市		沖縄県		沖縄県における割		備考
	収穫面積	出荷量	収穫面積	出荷量	収穫面積	出荷量	
品目							
さやいんげん	86	861	242	2,130	36	40	大里・知念拠点 産地
おくら	29	387	83	911	35	42	
にがうり	40	798	365	6,900	11	12	知念拠点産地
ピーマン	6	293	36	1,760	17	17	玉城指定産地
きゅうり	12	378	60	1,900	20	20	
レタス	19	355	160	3,820	12	9	

資料：2005年農林業センサス

「さやいんげん」、「おくら」に関しては、沖縄県全体の出荷量の約40%もの割合を示しており、その他に、「ピーマン」、「きゅうり」なども約20%の出荷量を誇る。

5) 交通

本土から沖縄本島へは航空便とフェリー便がある。

航空便は、東京国際空港、関西空港、名古屋空港、福岡空港をはじめ主要空港18空港から那覇空港へ往来することができ、空港によるアクセスが非常に発達している。

また、フェリー便は、東京、名古屋、大阪、神戸、博多、鹿児島からの6航路がある。

沖縄本島那覇方面から南城市へのアクセスは、国道329号を利用し、約30分から1時間程度でアクセスすることができる。

久高島へは、安座間港からフェリーで渡ることができます。

港湾

馬天港(かつては久高島の定期船が出ていた)

徳仁港

安座真港(久高島への定期船が就航している)

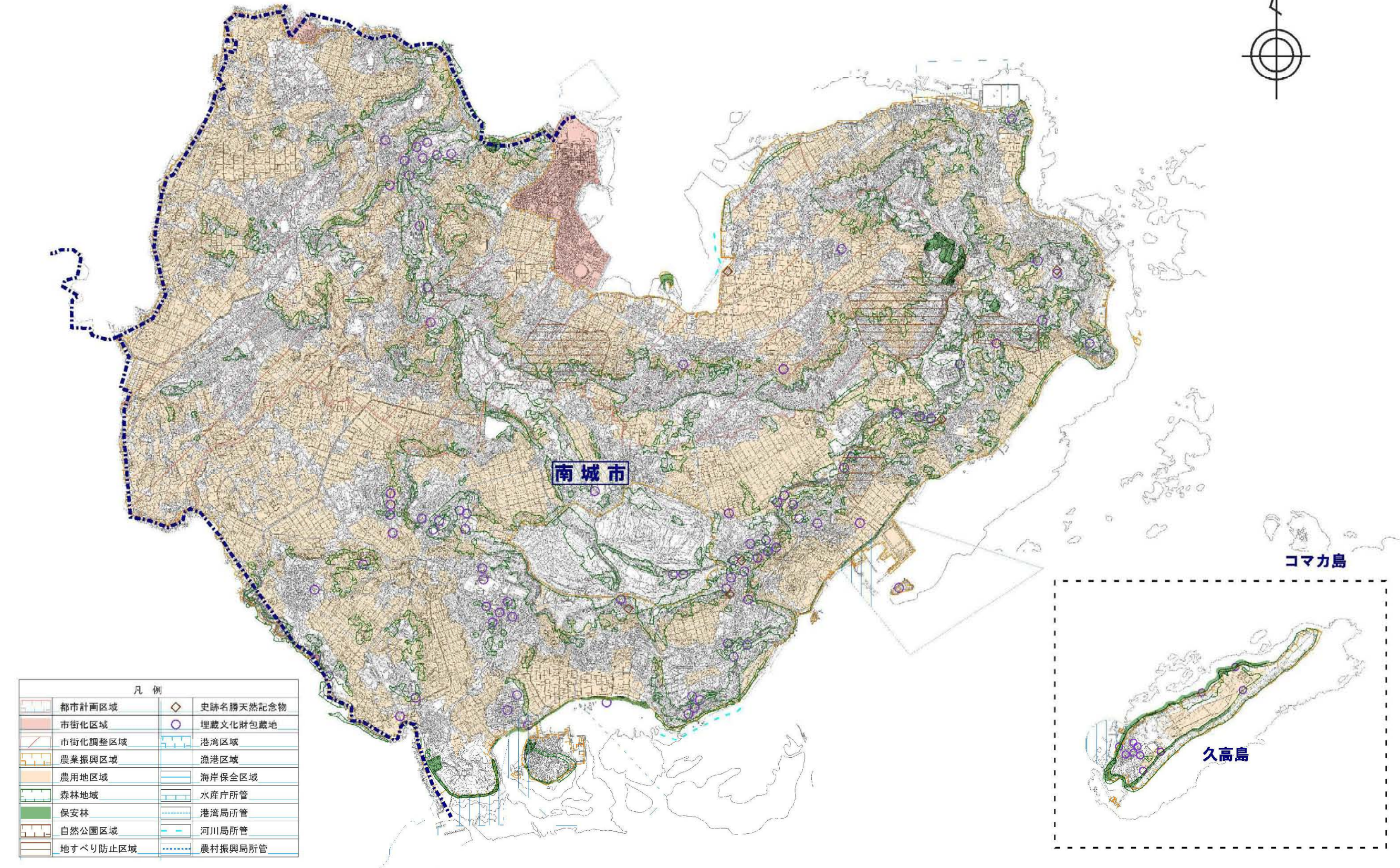
事業者 番号	事業社名	航路 番号	航路名	免許 年月日	航路 距離	片道所要 時間	運行 回数	船名
19	久高海運	23	久高～安座間	51.5.29	8.6	15分	3/日	ニューくだか
						20分	3/日	フェリーくだか

バス路線図



この他、南城市庁舎巡回バスとして、1号車（反時計回りコース、一日3便）及び2号車（時計回りコース、一日4便）が平日（月～金）運行している。

南城市土地利用規制図



(2) 既存観光施設・資源等の点検・整理

南城市内の既存観光資源をカテゴリーで分類し、分布状況を整理するとともに、個々の資源について、以下のような視点で点検・整理を行う。

単に観光資源を抽出し分布状況を整理するだけでなく、下記の視点で個々の観光資源の評価を行うことにより、具体的な観光施策が導き出せるものとする。

【観光施設・資源等カテゴリー分類案】

1	文化・コミュニティ施設	
2	スポーツ施設	
3	交流体験施設	
4	観光施設(レクリエーション)	
5	公園緑地	
6	自然	川
		井戸
		水
		島
7	史跡・名所	
8	景観・景勝地	
9	グスク	
10	ビーチ	
11	イベント	
12	伝統・文化芸能(無形)	
13	物産(特産物等)	
14	宿泊施設	

南城市内の観光施設や観光資源について、既存資料やインターネット等で抽出し、それらを左記のカテゴリーに分類し、整理を行う。

【点検・整理の視点】

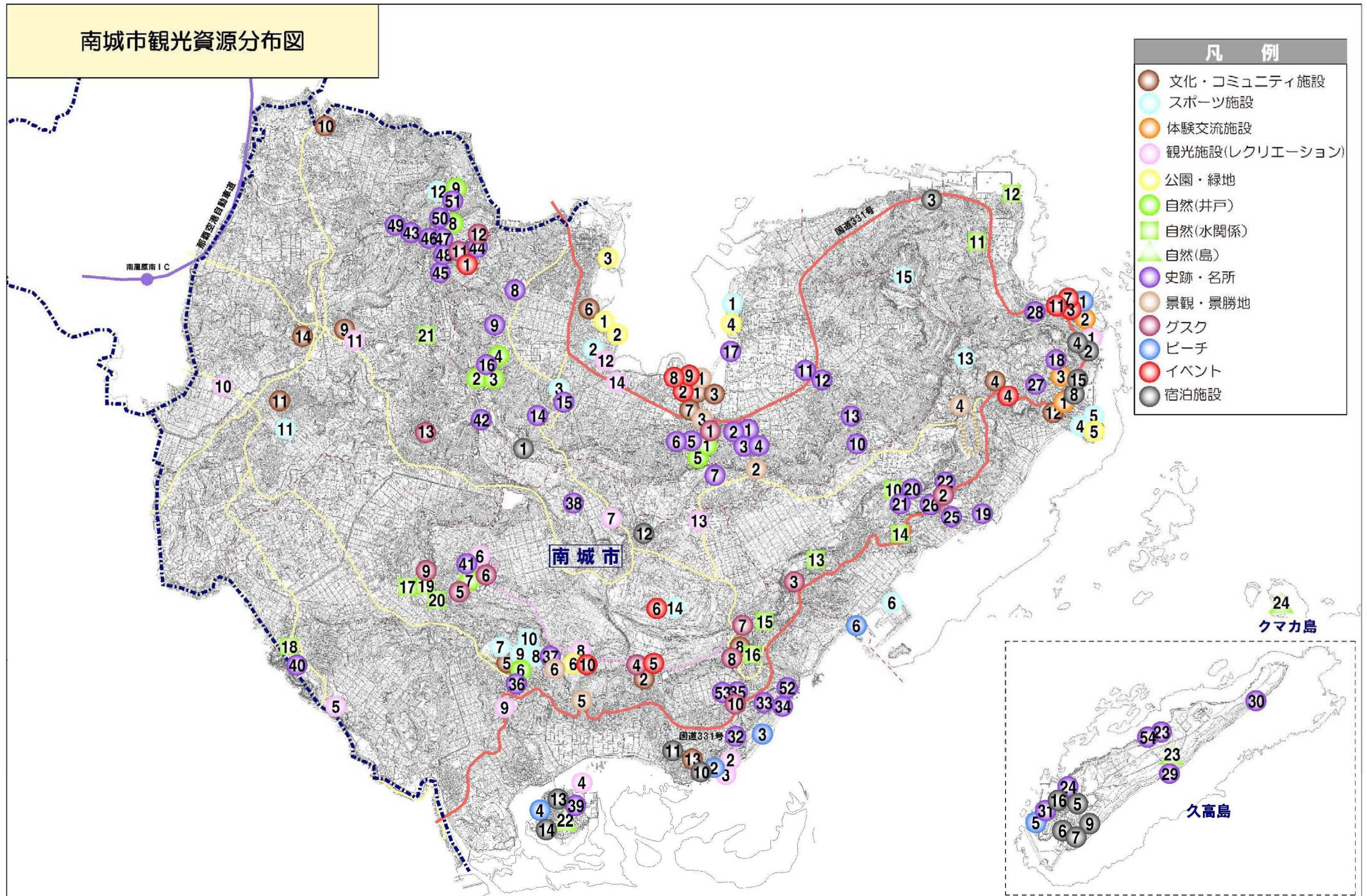
1	施設名	
2	所在地	
3	指定文化財(有無)	
4	施設の概要	
5	交通アクセス	
6	利用状況	利用客数
		施設利用イベント
		観光プログラム
7	バリアフリーへの対応	
8	施設周辺状況(サイン等)	
9	備考	

上記の分類に従い、現地調査を行い、施設の概要や整備状況について調査を行った。

1) 主要観光資源一覧

No.	名称	No.	名称	No.	名称	No.	名称
文化・コミュニティ施設		自然					
1	南城市文化センター「シュガーホール」	井戸（ ）		33	浜川御嶽	9	JAZZ in Nanjo
2	沖縄県玉城少年自然の家	1	美里井	34	ヤハラツカサ	10	青年芸能フェスタ in 南城
3	南城市立図書館（佐敷分館）	2	上の井	35	百名区石獅子	11	ハイ祭
4	南城市立記念図書館	3	中の井	36	尚泰久王の墓、安次富金橋の墓	宿泊施設	
5	南城市立図書館（玉城分館）	4	下茂の井	37	百十路揚の墓	1	ウェルサンピア沖縄（沖縄厚生年金休暇センター）
6	南城市立ひまわり児童館	5	親井	38	アマチジョウガマ	2	ホテルサンライズ知念
7	南城市立シュガー児童館	6	正泉井	39	奥武観音堂	3	民宿 海野
8	南城市立仲村渠児童館	7	内嶽殿カ-	40	前川の民間防空壕	4	安座真ムーンライトテラス
9	南城市立大里中央児童館	8	チチンガー	41	糸数アブチラガマ	5	久高島宿泊交流館
10	南城市立大里北児童館	9	内原ガ-	42	大城按司の墓	6	にらい荘
11	南城市立大里南児童館	水関係（ ）		43	食栄森御嶽	7	民宿にしめ
12	南城市知念社会福祉センター	10	知念大川	44	島添大里按司の墓	8	ペンションポラン
13	南城市玉城社会福祉センター	11	知名御川	45	新垣家の石積	9	小やどSAWA（さわ）
14	南城市総合保健福祉センター	12	テダ御川	46	知念家の一枚岩のヒンブン	10	ビーチサイドペンションみーばる
スポーツ施設		13	カンチャ大川	47	カニマン御嶽	11	ペンションウエストビュー
1	南城市さしきスポ・レクセンター	14	具志堅の樋川	48	ギリムイ御嶽	12	ウィークリーマンション グスクロード
2	南城市営新開球場	15	垣花樋川	49	南風原区の石彫魔除獅子	13	民宿 おおじま
3	南城市佐敷勤労者体育センター	16	仲村渠樋川	50	旧日本軍の砲座壕	14	民宿海の家 あけぼの荘
4	南城市知念体育館	17	船越大川	51	島添の塔	15	海日和
5	南城市知念勤労者体育センター	18	前川樋川井泉	52	ヤブサツ御嶽	16	民宿 はーにいー
6	南城市志喜屋漁港多目的広場	19	糸数樋川	53	百名の焚字炉	伝統・文化芸能（無形）	
7	南城市玉城野球場	20	カマンカジ	54	ウガン浜	1	手登根エイサー
8	南城市玉城陸上競技場	21	真境名 ヒージャー	55	オキナワヒメウツギ群落	2	ティンペーとカマンティー
9	南城市玉城庭球場	島（ ）		景観・景勝地		3	天人
10	南城市玉城総合体育館	22	奥武島	1	佐敷干潟	4	棒術
11	南城市大里勤労者体育センター	23	久高島	2	佐敷高台	5	稲摺節
12	南城市大里内原公園	24	クマカ島	3	佐敷ヤシ並木通り	6	醜童
13	南城市知念屋外運動場	史跡・名所		4	ニライ橋・カナイ橋	7	アヤグ
14	琉球ゴルフ倶楽部	1	苗代大親の神アサギと位碑	5	やんばる山	8	獅子舞（玉城、稲嶺、大里字当間、津波古）
15	守礼カントリークラブ	2	美里殿	6	富里集落の石畳道	9	長者大主（百名）
体験交流施設		3	つきしろの岩と井	7	グスクロード公園（公園・緑地で表示）	10	長者大主（前川）
1	がんにゅう駅・南城（体験滞在交流センター）	4	苗代殿	グスク		11	寄嶽
2	海の館・イノー（海洋体験施設）	5	上城之嶽	1	佐敷グスク（上グスク）	12	古壑のミーミンメー
3	緑の館・セーファ（歴史学習体験施設）	6	佐敷ノ口殿内	2	知念城跡	13	ヌーバレー（久手堅、安座真、知名）
観光施設（レクリエーション）		7	佐敷ようどれ	3	志喜屋グスク	14	ハーリー（馬天、海野、奥武島）
1	知念海洋レジャーセンター	8	アーマンチュ森	4	玉城城跡	15	大城の綱引きと旗頭
2	新原海底観光センター	9	喜屋武久殿	5	糸数城跡	16	大城大軍・組踊
3	みーばるマリセンター	10	平田大比屋の墓	6	根石グスク	17	目取真の綱引き
4	奥武島グラスポート	11	平田大比屋の墓	7	垣花城跡	物産（特産物等）	
5	おきなワールド文化王国・玉泉洞	12	フツチャー石	8	ミントングスク	1	サイインゲン
6	南部観光総合案内センター	13	手登根の土帝君	9	船越グスク	2	マンゴー
7	琉球舞踊館「うどい」	14	ユックイーヌヒラ	10	大城グスク	3	クレソン
8	グスクロード	15	新里の土帝君	11	島添大里グスク	4	もずく
9	花野果村	16	場天御嶽（イビの森）	12	ミーグスク	5	海ブドウ
10	軽便駅かりゆし市	17	小谷集落（石畳）	13	大城城跡	6	クルマエビ
11	畑人（はるさー）市	18	富祖崎ハマジンチョウ群落	ビーチ		7	玉城EM牛乳
12	南城市佐敷農産物直売所	19	斎場御嶽	1	あざまサンサンビーチ	8	玉城EMアイス
13	地元生産者直売店 高原の駅 なんじょう	20	神山の殿	2	新原ビーチ	9	もろみ酢
14	農産物直売所 農援	21	知念按司の墓	3	百名ビーチ	10	ノニジュース
公園・緑地		22	具志堅のシーサー	4	奥武ビーチ	11	カンキツジュース
1	新開公園	23	知念のシーサー	5	メーギ浜	12	ヒラミシークワァーサージュース
2	新開都市緑地	24	久高島クボ-	6	志喜屋やすらぎパーク	13	パッションフルーツジュース
3	馬天児童公園	25	久高島御殿庭（イザイホ-	イベント		14	ゴーヤ茶
4	富祖崎公園	26	知念親川のフクギ群	1	うぶざとヌム-	15	キクイモ茶
5	知念岬公園	27	新屋のサキシマスオウノキ	2	尚巴志ハーフマラソンin南城市	16	コーレグス
6	グスクロード公園	28	久手堅の大アカギ	3	東御廻い 国際ジョイアスロン大会	17	紅イモサターアングギー
7	南城市大里内原公園（スポーツ施設で表示）	29	大殿内のサキシマスオウノキ	4	南城市新春マラソン大会	18	ニヘデビール
		30	久高島伊敷浜の海岸植物群落	5	視覚障害者マラソン沖縄大会	19	仲善（カフェくるくま）
		31	久高島カペールの海岸植物群落	6	ダイキンオーキッドレディスゴルフトーナメント	20	沖縄長生薬草
		32	前又浜のスーキ	7	あざまサンサンビーチ海開き	21	たまぐすく村のさとうきび酢
			受水走水	8	おきてんシュガーホール新人演奏会		

3) 南城市観光資源分布図

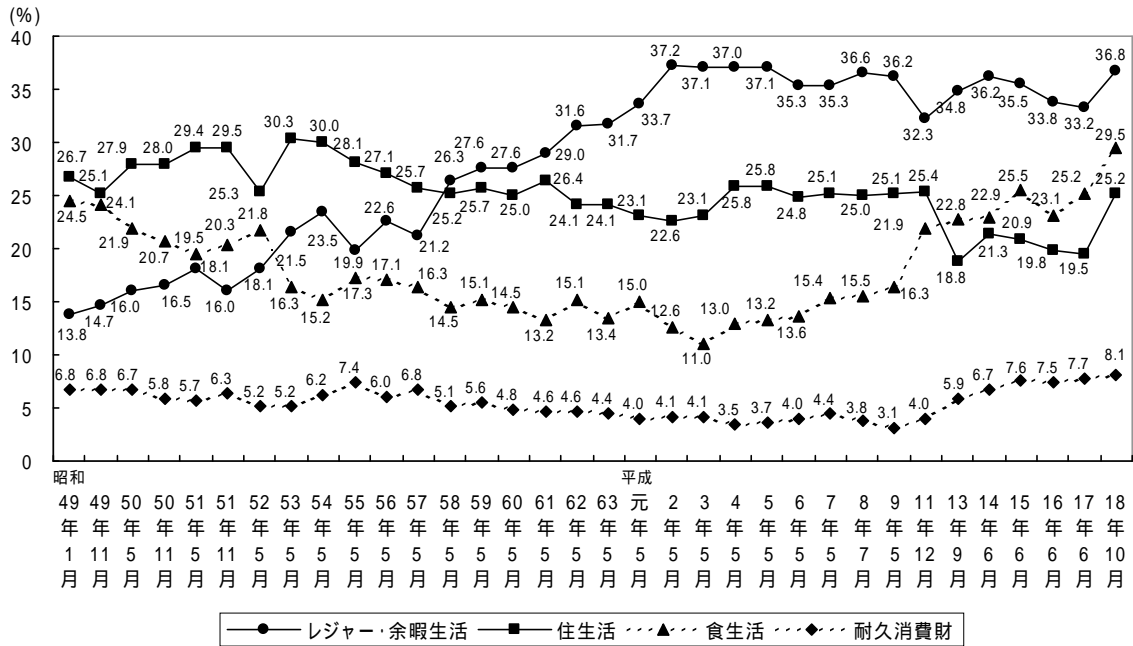


(3) 観光客に関する現状分析

既往資料をもとに、全国の観光の動向や県内観光客・県外観光客の実数や、それぞれの旅行動向（沖縄県内及び南城市内における旅行先、滞在日数等）を整理し、沖縄観光における主な流れを調査する。

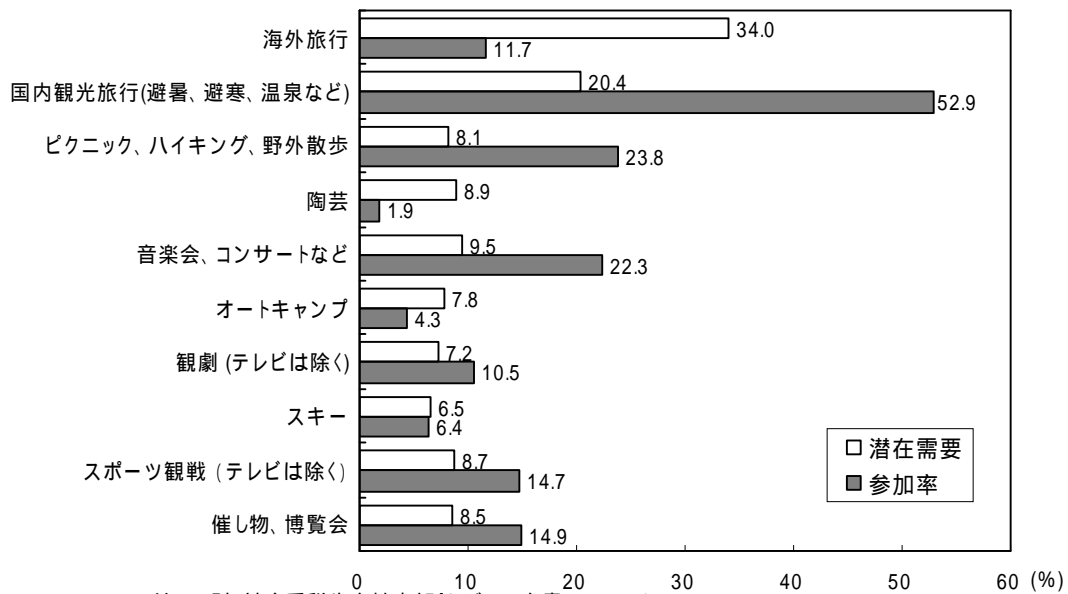
1) 全国の動向

今後の生活の力点の推移



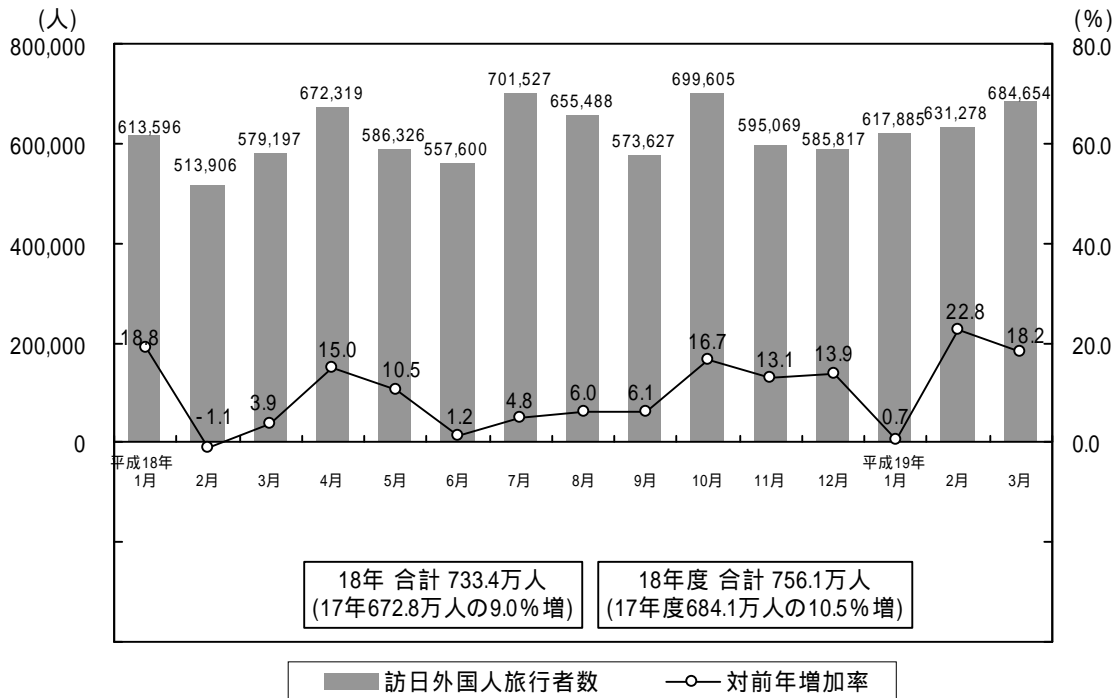
(注) 1 内閣府大臣官房政府広報室「国民生活に関する世論調査」(平成18年10月)による。
 2 耐久消費財とは、自動車、電化製品、家具など耐久消費財の面。
 3 平成11年度以前は単数回答。
 4 平成13年度以降は複数回答で聞いており、以前の調査結果と直接比較できない。
 出典：「平成19年版観光白書」国土交通省、平成19年7月

余暇活動の潜在需要



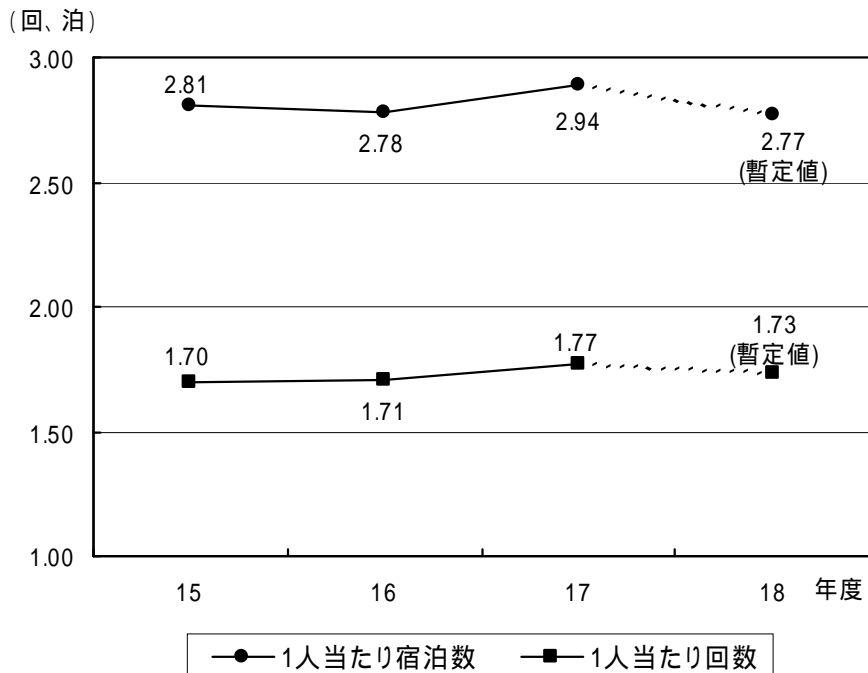
(注) (財)社会系生産性本部「レジャー白書2006」による。
 出典：「平成19年版観光白書」国土交通省、平成19年7月

訪日外国人旅行者の月別推移



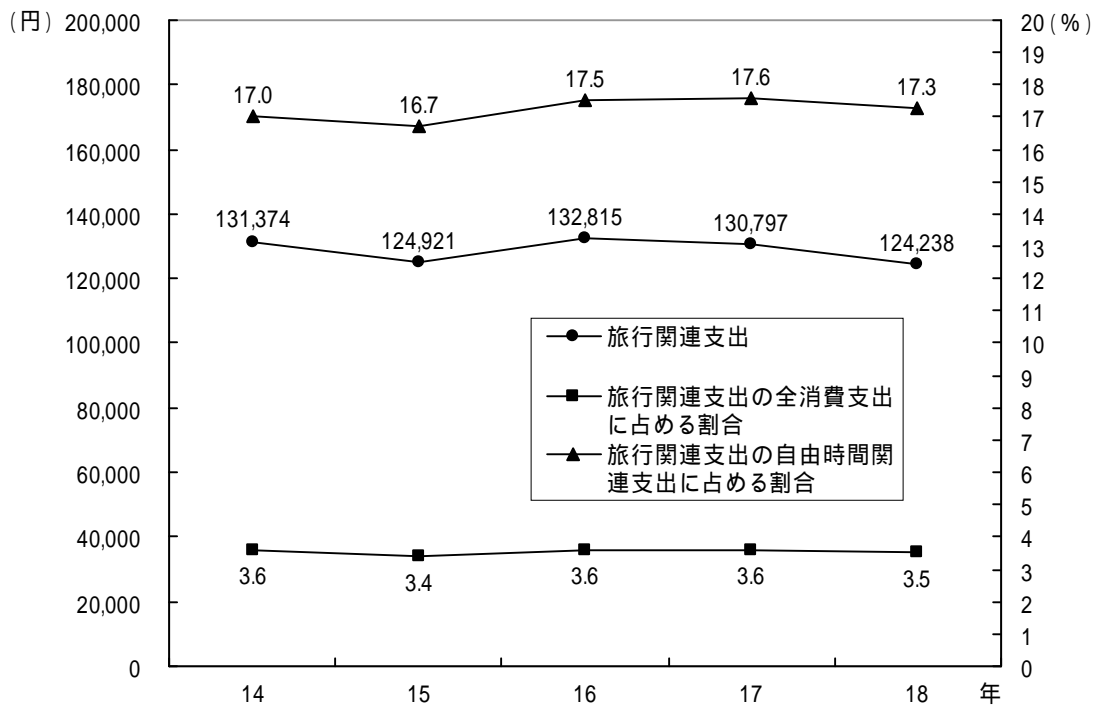
(注) 1 国際観光振興機構資料に基づき国土交通省総合政策局作成。
 2 平成19年1月～3月の数値は暫定値。
 出典：「平成19年版観光白書」国土交通省、平成19年7月

国内宿泊観光旅行の回数及び宿泊数



(注) 国土交通省「旅行・観光消費動向調査」による。
 出典：「平成19年版観光白書」国土交通省、平成19年7月

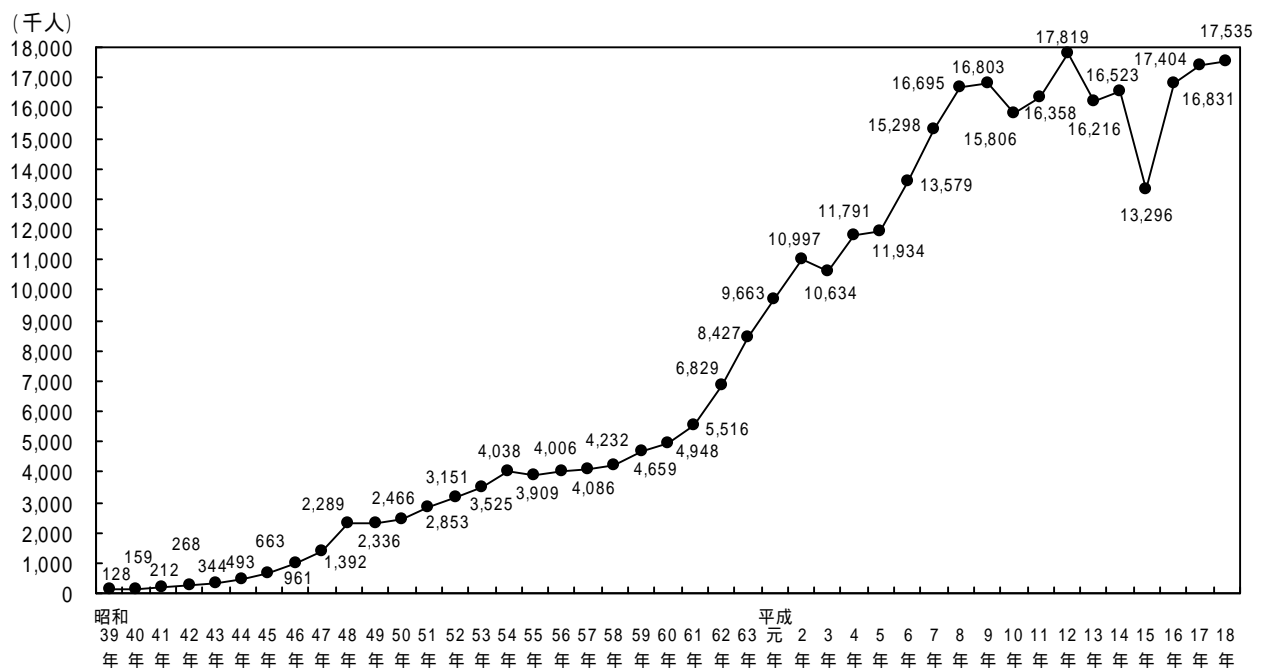
旅行関連支出の推移



- (注) 1 総務省統計局「家計調査」(二人以上の世帯(農林漁家世帯を除く))による。
 2 自由時間関連支出とは、外食、テレビ、ビデオテープレコーダー等の耐久性、読書等の教養娯楽、スポーツ用品等に支出した金額。
 3 旅行関連支出とは、「宿泊費(宿泊料、パック旅行)」、交通費(鉄道運賃、航空運賃、有料道路料、他の交通)、「旅行用かばん」に支出した金額。

出典：「平成19年版観光白書」国土交通省、平成19年7月

日本人の海外旅行者数の推移

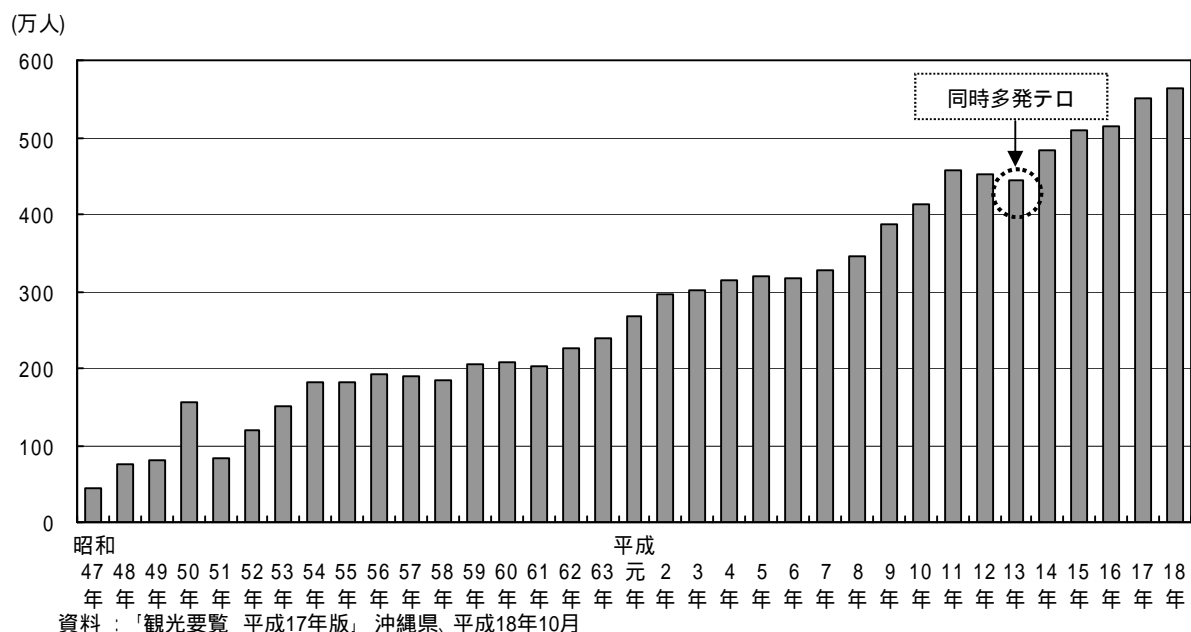


- (注) 1 法務省資料に基づき国土交通省総合政策局作成。

出典：「平成19年版観光白書」国土交通省、平成19年7月

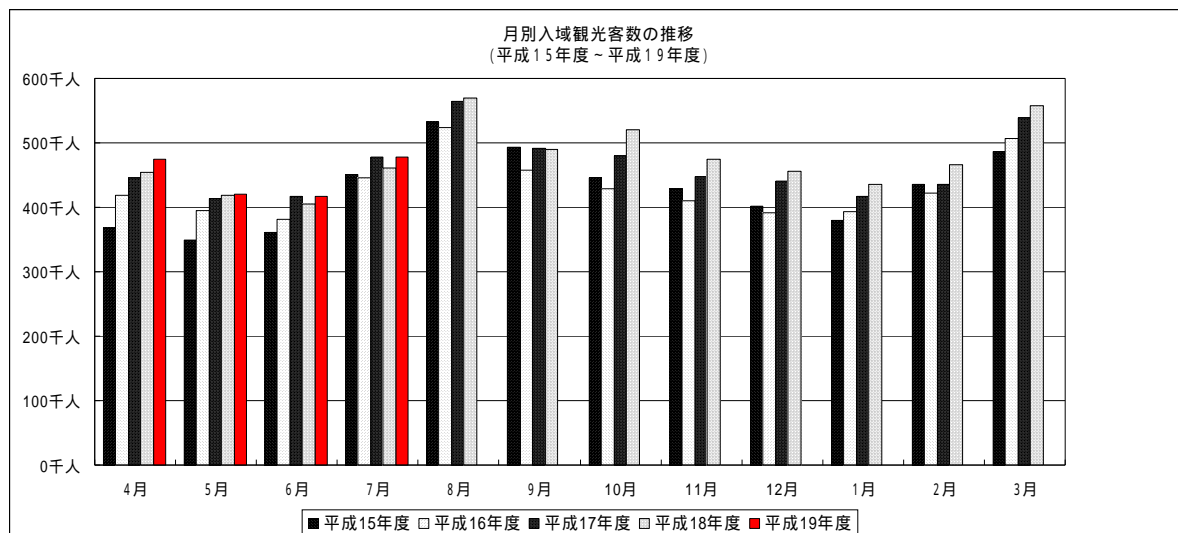
2) 沖縄県の動向

年次別入域観光客数の推移



平成18年は「平成18年入域観光客統計概況及び平成18年12月入域観光客統計概況」
 沖縄県観光商工部（平成19年1月18日公表）

入域観光客数の月別変動

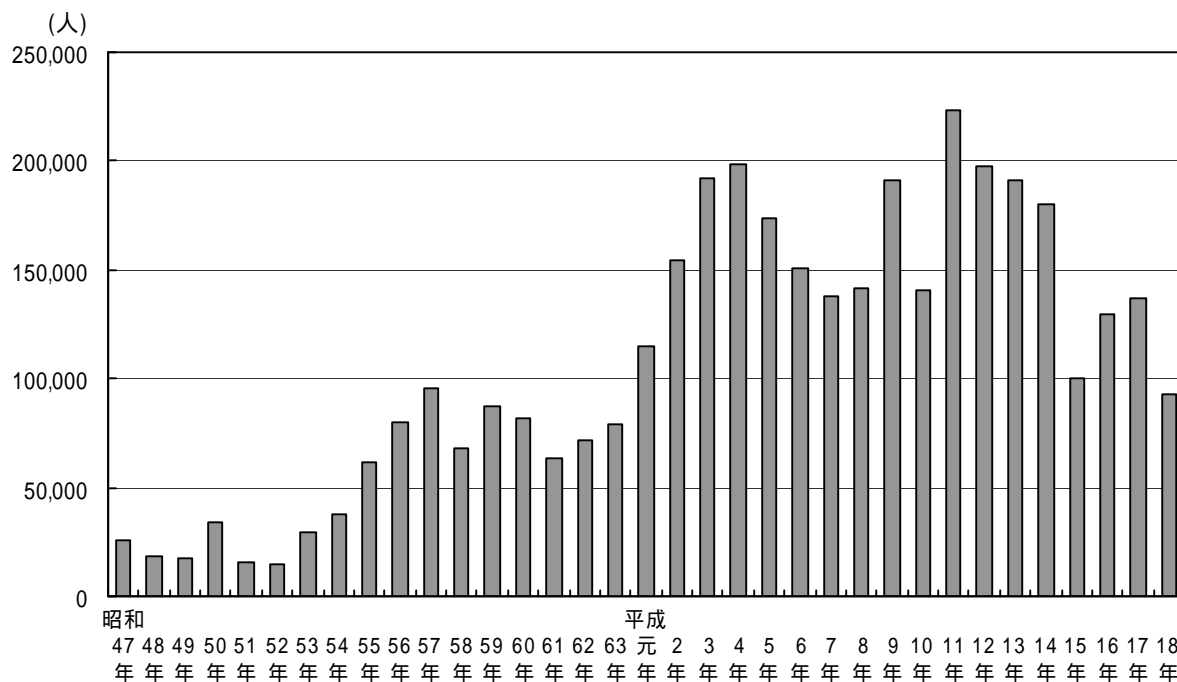


(単位:千人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平成15年度	368.0	348.7	360.2	451.3	531.6	493.0	445.5	428.1	401.3	379.2	436.3	486.5	5,129.7
平成16年度	418.5	395.0	381.2	445.4	523.4	457.8	429.2	409.9	390.8	392.4	421.3	506.7	5,171.6
平成17年度	446.6	414.4	416.7	478.7	563.6	491.4	479.9	447.2	441.2	417.3	435.6	538.9	5,571.5
平成18年度	453.4	417.9	404.3	461.3	569.2	490.4	519.9	474.5	455.1	435.8	465.6	557.7	5,705.1
平成19年度	475.3	420.4	417.2	477.6									

資料：「入域観光客統計月報」 沖縄県観光商工部

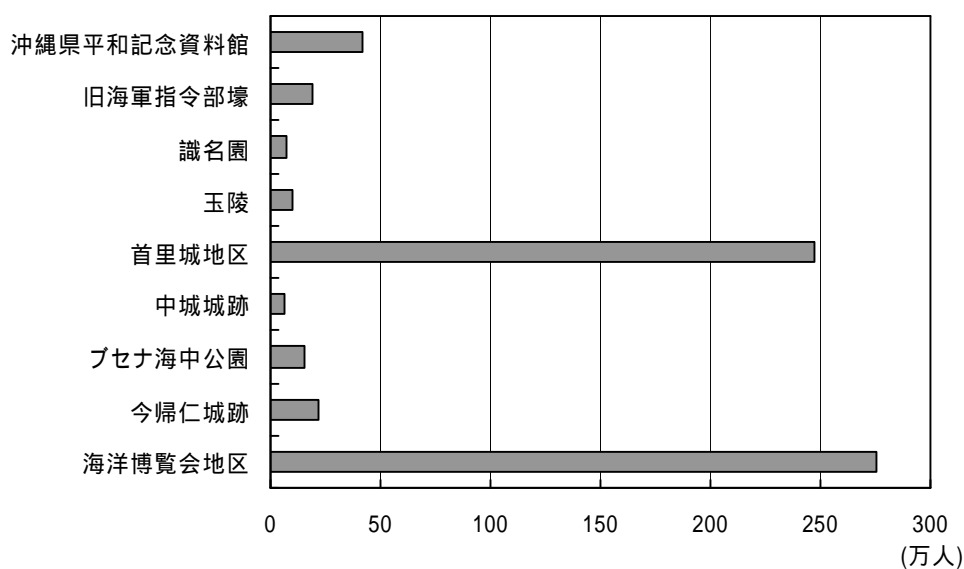
外国人観光客数の推移



資料：「観光要覧 平成17年版」沖縄県、平成18年10月

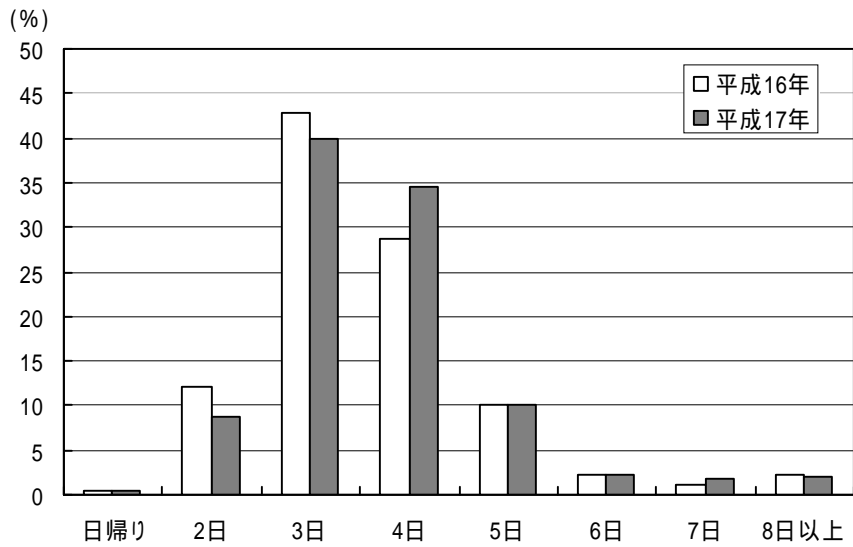
平成18年は「平成18年入域観光客統計概況及び平成18年12月入域観光客統計概況」
 沖縄県観光商工部（平成19年1月18日公表）

主な施設の利用状況



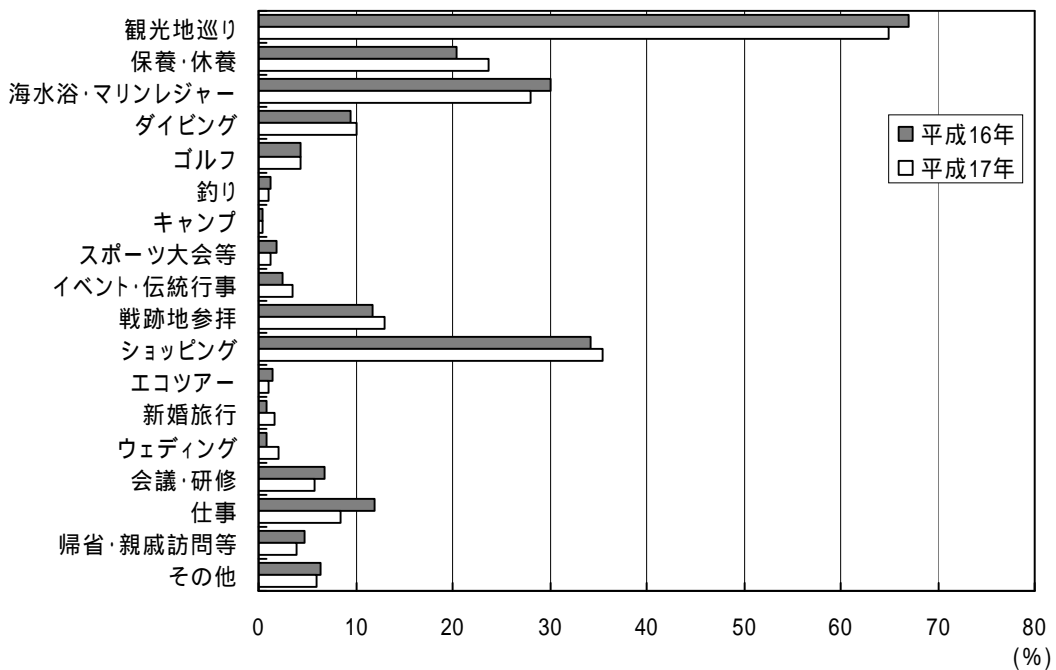
資料：「観光要覧 平成17年版」沖縄県、平成18年10月

滞在日数



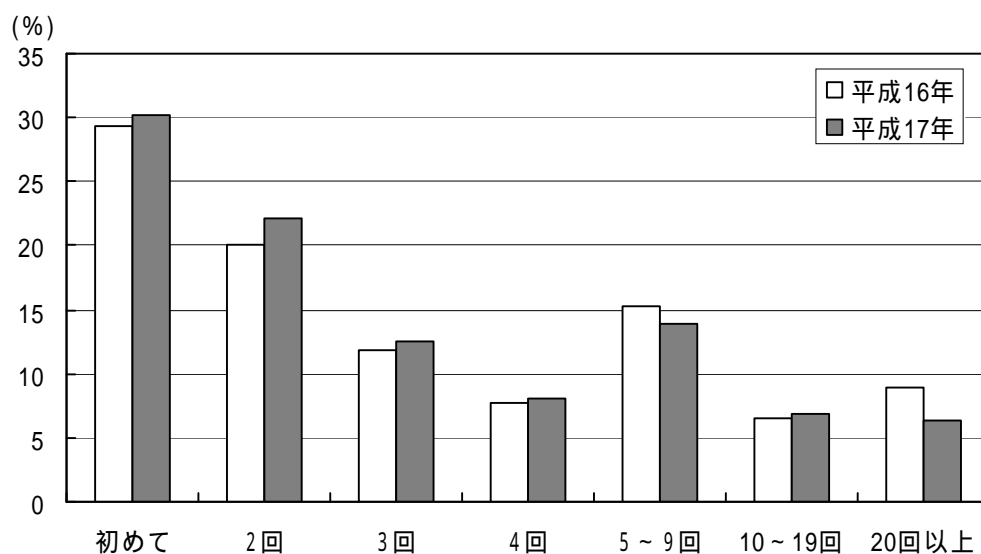
資料：「観光要覧 平成17年版」沖縄県、平成18年10月

旅行目的



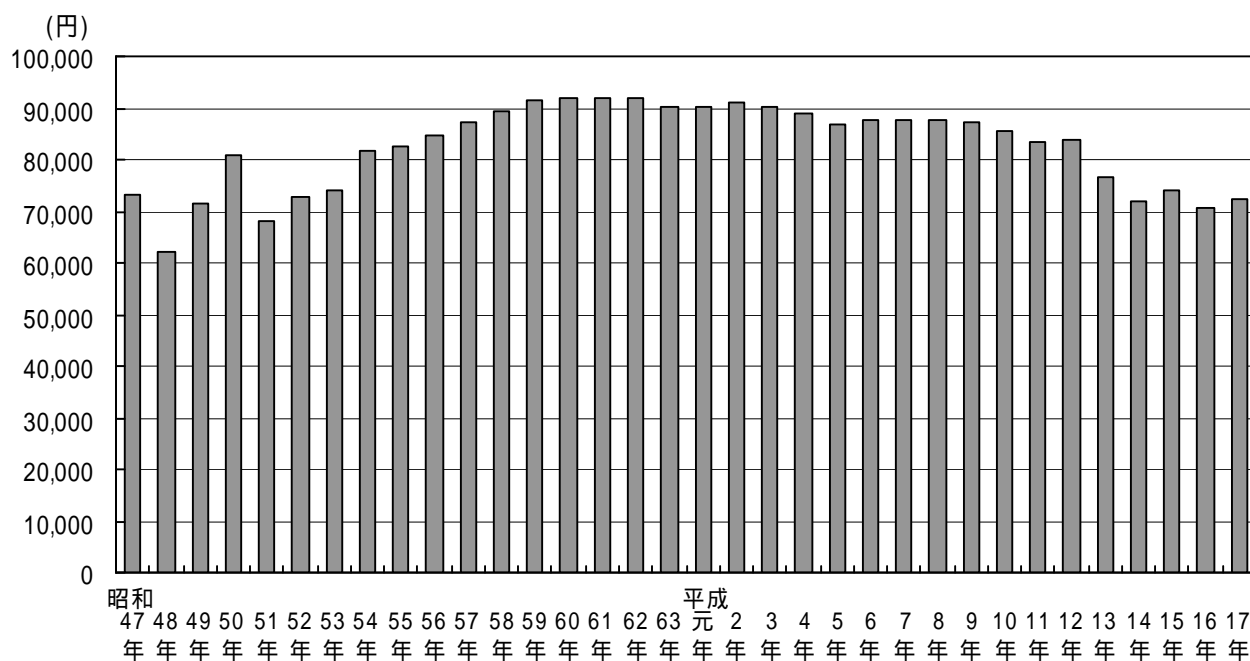
資料：「観光要覧 平成17年版」沖縄県、平成18年10月

旅行回数



資料：「観光要覧 平成17年版」沖縄県、平成18年10月

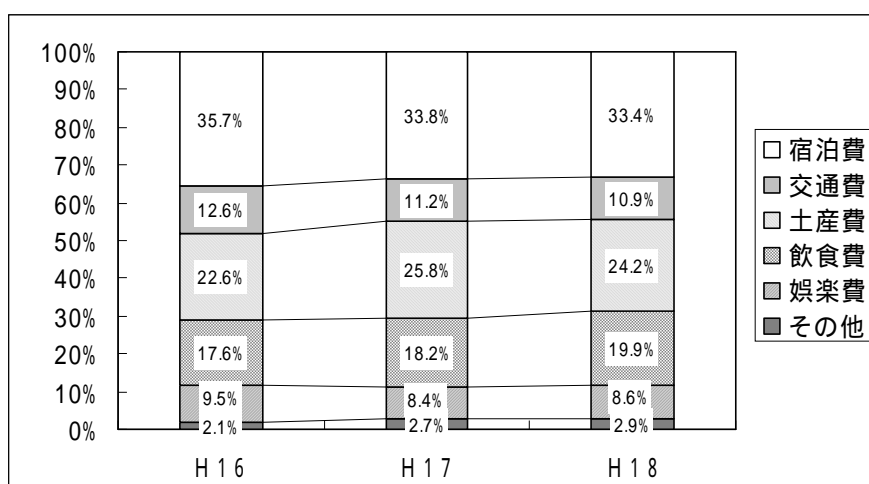
観光客1人当たり県内消費額の推移



資料：「観光要覧 平成17年版」沖縄県、平成18年10月

観光客 1 人当たり消費額の内訳

	金額			構成比		
	H16	H17	H18	H16	H17	H18
宿泊費	25,152	24,466	24,306	35.7%	33.8%	33.4%
交通費	8,855	8,099	7,962	12.6%	11.2%	10.9%
土産費	15,916	18,653	17,627	22.6%	25.8%	24.2%
飲食費	12,429	13,179	14,512	17.6%	18.2%	19.9%
娯楽費	6,684	6,088	6,250	9.5%	8.4%	8.6%
その他	1,455	1,936	2,140	2.1%	2.7%	2.9%
総額	70,490	72,421	72,797	100.0%	100.0%	100.0%



資料：沖縄県観光企画課HPより(平成18年の観光収入について(平成19年6月21日公表))

南部市町村別の宿泊施設数

平成18年10月1日現在(単位:軒、室、人)

	合計				
	軒数	客室数			収容人員
		和	洋	計	
那覇市	134	403	10,623	11,026	20,386
糸満市	8	14	73	87	257
豊見城市	2	0	38	38	38
八重瀬町	4	4	64	68	155
南城市	17	114	81	195	941
与那原町	0	0	0	0	0
南風原町	0	0	0	0	0
小計	165	535	10,879	11,414	21,777
合計	1,022	5,557	26,763	32,320	80,746

資料：平成18年宿泊施設実態調査結果(施設数) 沖縄県

季節集計立ち寄り先

今回の旅行で訪れた地域(移動で通過しただけの場所は除く)

2006年6月		2006年7月		2006年11月		2007年2月		合計		調査全体順位	
南部	80	南部	102	南部	115	南部	120	南部	417	南部	33.9%
1那覇市	75	1那覇市	90	1那覇市	105	1那覇市	115	1那覇市	385	1那覇市	68.3%
2本部	45	2本部	72	2本部	79	2本部	95	2本部	291	2本部	48.3%
3北部西海岸	40	3北部西海岸	61	3北部西海岸	75	3北部西海岸	83	3北部西海岸	259	3北部西海岸	40.9%
4中部西海岸	39	4中部西海岸	35	4中部西海岸	55	4中部西海岸	57	4中部西海岸	186	4中部西海岸	28.2%
5中部東海岸	17	5中部東海岸	22	5中部東海岸	32	5中部東海岸	32	5中部東海岸	103	5石垣島	16.9%
6北部東海岸	6	6やんばる	11	6北部東海岸	9	6やんばる	18	6やんばる	41	6中部東海岸	15.1%
7慶良間諸島	6	7慶良間諸島	7	7やんばる	7	7北部東海岸	12	7北部東海岸	32	7石垣島周辺離島	14.8%
8やんばる	5	8北部東海岸	5	8石垣島	6	8石垣島	7	8慶良間諸島	19	8宮古島	7.0%
9石垣島	3	9石垣島周辺離島	4	9石垣島周辺離島	4	9石垣島周辺離島	5	9石垣島	18	9やんばる	6.1%
10石垣島周辺離島	3	10石垣島	2	10慶良間諸島	2	10慶良間諸島	4	10石垣島周辺離島	16	10北部東海岸	4.6%
11久米島	2	11本島周辺離島	1	11宮古島	2	11久米島	1	11宮古島	5	11慶良間諸島	4.3%
12宮古島	1	12宮古島	1	12久米島	0	12宮古島	1	12久米島	3	12宮古島周辺離島	2.9%
13本島周辺離島	0	13久米島	0	13本島周辺離島	0	13本島周辺離島	0	13本島周辺離島	1	13久米島	1.8%
14宮古島周辺離島	0	14宮古島周辺離島	0	14宮古島周辺離島	0	14宮古島周辺離島	0	14宮古島周辺離島	0	14本島周辺離島	0.8%

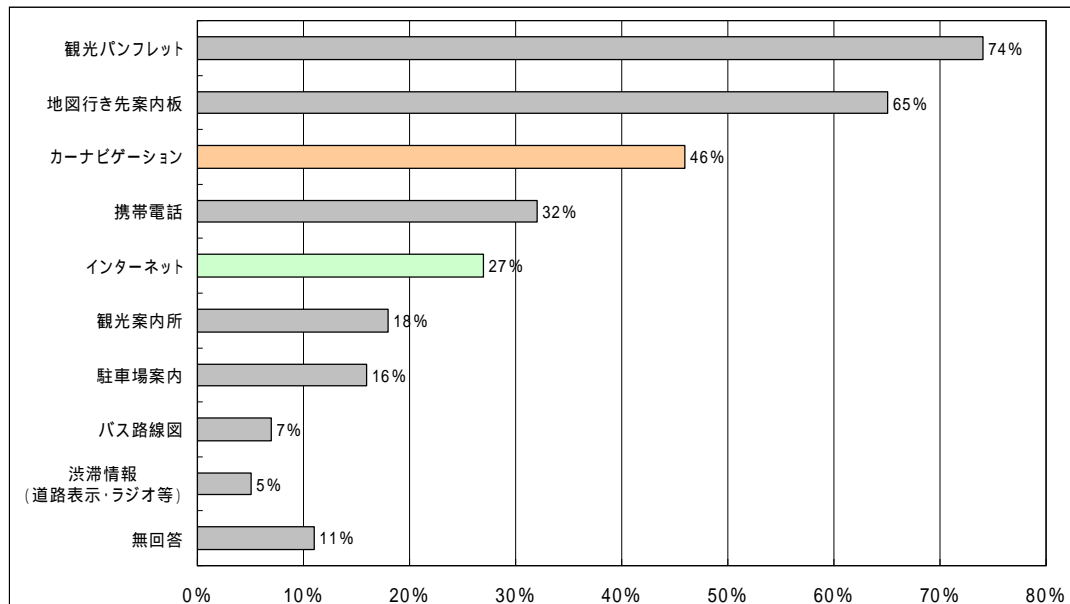
資料：「平成18年度観光統計実態調査」平成19年3月、沖縄県

沖縄に来た感想

順位	感想	合計
1	県内交通	91
2	美しい海・空・自然・景色・サンゴ・景観等	80
3	接客	59
4	守る、自然保護、大切に、今のままで、変わらないでほしい	57
5	食事・飲食店	48
6	地元の人々・ホスピタリティ	44
7	観光施設	43
8	観光地整備・発展	41
9	天気・気候・台風	40
10	観光情報	38

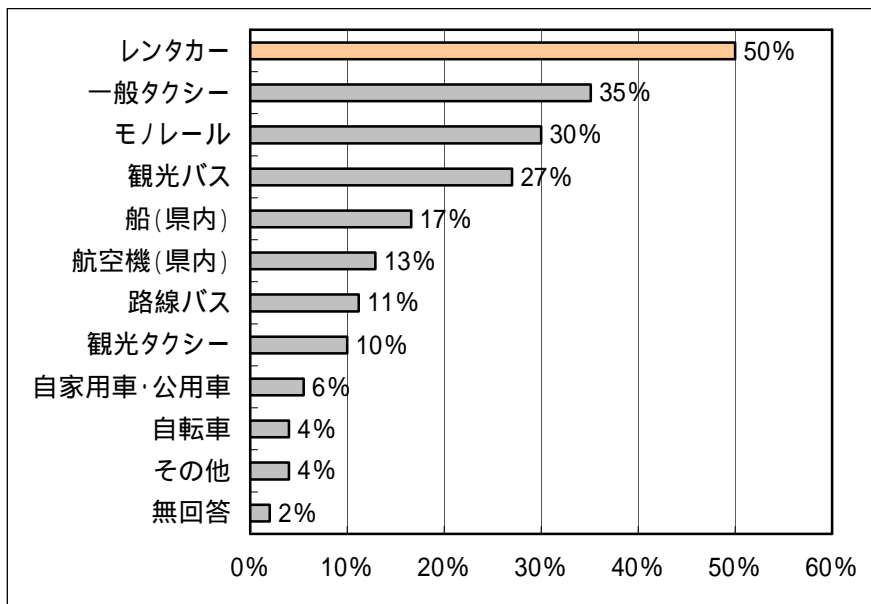
資料：「平成18年度観光統計実態調査」平成19年3月、沖縄県

利用した観光情報



資料：「平成18年度観光統計実態調査」平成19年3月、沖縄県

利用した交通機関



資料：「平成18年度観光統計実態調査」平成19年3月、沖縄県

3) 南城市の観光動向

平成 18 年度の県観光動向からみる南部エリア入域観光客数推計

H 1 8 年度沖縄県入域観光客数

5,636,900 人

H 1 8 年度県アンケート調査

訪問地域南部来訪率（那覇市除く）

33.9 %

南部入域観光客数推計

1,910,000 人

南城市の主要施設等の入り込み客数

施設名		年間入込み客数	施設名		年間入込み客数
文化・コミュニティ施設			イベント		
1	南城市文化センター“シュガーホール”	53,186	20	尚巴志ハーフマラソンin南城市	20,000
2	沖縄県玉城少年自然の家	-	21	国際ジョイアスロン大会	838
交流体験施設			22	南城市新春マラソン大会	200
3	がんじゅう駅南城(体験滞在交流センター)	-	23	視覚障害者マラソン沖縄大会	1,800
4	海の館イノー(海洋体験施設)	-	宿泊施設		
5	緑の館セーファ (歴史学習体験施設)	年間推計値	24	ウェルサンピア沖縄(沖縄厚生年金休暇センター)	49,932
		H19.7～9月実績値	45,382	25	ホテルサンライズ知念
観光施設(レクリエーション)			26	民宿 海野	-
6	知念海洋レジャーセンター	-	27	安座真ムーンライトテラス	-
7	新原海底観光センター	26,541	28	久高島宿泊交流館	3,000
8	おきなわワールド文化王国・玉泉洞	1,300,000	29	にらい荘	-
9	南部観光総合案内センター(糸数塚)	138,000	30	民宿にしめ	-
10	琉球舞踊館「うどい」	-	31	ペンションボラン	534
11	むちゆし市	3,650	32	小やどSAWA(さわ)	-
12	花野果村	79,600	33	ビーチサイドペンションみーばる	1,450
13	軽便駅かりゆし市	250,000	34	ペンションウエストビュー	2,000
ビーチ			35	ウィークリーマンション グスクロード	-
14	あざまサンサンビーチ	141,283	36	民宿 おおじま	-
15	新原ビーチ	200,000	37	民宿海の家 あげぼの荘	-
16	百名ビーチ	-	38	海日和	-
17	奥武ビーチ	-	その他		
18	ウガン浜	-	39	カフェくるくま	130,000
19	ウパーマ浜	-	計		2,569,014

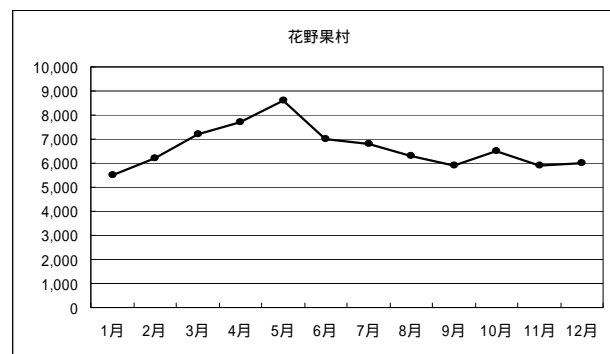
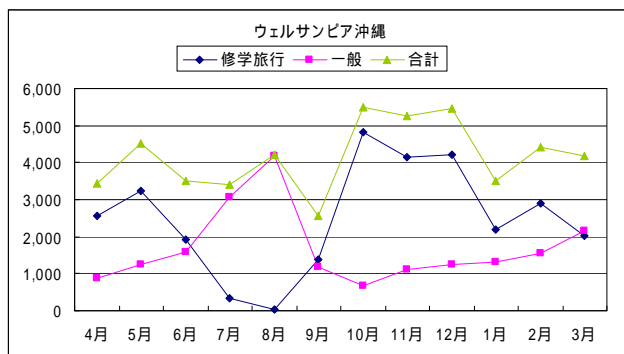
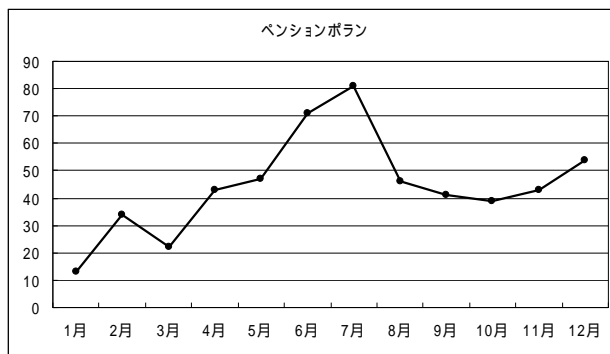
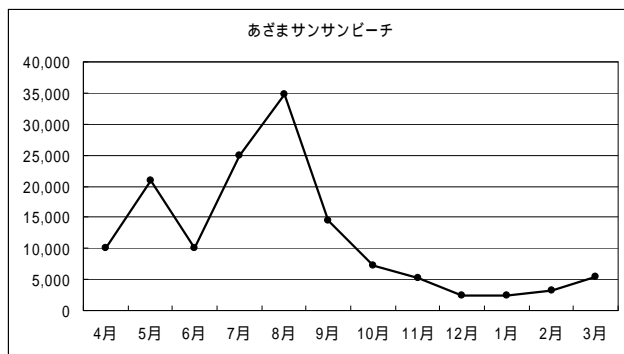
上記のように南城市の観光動向として、おきなわワールド文化王国玉泉洞を頂点とした一極集中型といえる。

また、地元活用率も多いと思われる市場やカフェ、ビーチ等も年間で10～20万人以上の集客があることがわかる。

南城市の主要施設等の月別入込み客数

	あざま サンサンビーチ	ウェルサンピア沖縄		
		修学旅行	一般	合計
4月	10,140	2,575	879	3,454
5月	20,994	3,250	1,264	4,514
6月	10,041	1,921	1,569	3,490
7月	24,980	322	3,074	3,396
8月	34,805	39	4,188	4,227
9月	14,503	1,371	1,178	2,549
10月	7,204	4,819	667	5,486
11月	5,130	4,143	1,103	5,246
12月	2,484	4,205	1,253	5,458
1月	2,480	2,194	1,307	3,501
2月	3,169	2,893	1,535	4,428
3月	5,353	2,013	2,170	4,183
計	141,283	29,745	20,187	49,932

	ペンション ボラン	花野果村
1月	13	5,500
2月	34	6,200
3月	22	7,200
4月	43	7,700
5月	47	8,600
6月	71	7,000
7月	81	6,800
8月	46	6,300
9月	41	5,900
10月	39	6,500
11月	43	5,900
12月	54	6,000
計	534	79,600



(4) 南城市に対するイメージ把握

・観光客アンケート調査

1) アンケート趣旨及び時期的検討

旧4町村におけるまちづくりの方針

合併の前の旧町村では、以下の目標のもとまちづくりが進められてきた。(新市建設計画より)

佐敷町

福寿のまち構想を軸にスポーツ健康づくりに力点

～自然・緑地に恵まれた**観光レクリエーション拠点、癒しと健康をテーマにしたリゾートづくり**～

知念村

「海と緑と朝日の里」をテーマとして恵まれた水・緑を背景に農業・水産業の振興を行う

～**観光産業への積極的な取り組み**(あざまさんさんビーチ、斎場御嶽の世界遺産、久高島の活用)～

玉城村

「グスクと水の里・たまぐすく」をテーマに農水産業・**観光を主軸に自然景観と文化遺産を保全する観光振興**

～海水浴、糸数アブチラガマ、ゴルフ、テーマパークといった多様性のある観光資源の有効活用～

大里村

「緑と心豊かなかりゆしの里・大里」をテーマとして環境と住民が融和した幸せと繁栄のまちづくり

～農業を基軸にした**ウェルネス構想の展開に対応した観光・リゾート振興**への基盤づくり～

この内、旧知念村、玉城村では、観光振興計画が策定され、それぞれの目標は以下のようになっている。

知念村

「沖縄・日本のルーツが見える沖縄・日本の心のふるさと」

琉球民族発祥の地として新しい南部観光の核となる

玉城

「グスクと水とふれあいの里・たまぐすく」

歴史・自然・ふれあい・人材を活かす

観光振興計画の着地点の確認

4町村が合併し、新市建設計画では、観光に関する課題として、癒しと健康をテーマとする観光・レクリエーションの拠点づくりへの対応を挙げ、多くの歴史文化遺産を東御廻り等有効活用し、保健・福祉、歴史・文化など幅広い分野に関する癒しと健康をテーマとした観光・レクリエーションの拠点づくりを地域と一体的に推進する必要があるとしている。

旧4町村では、数多くの史跡や戦跡等も有しており、歴史、自然、人を中心とした観光施策の展開という点では、共通している。

そのため、これらを受け、南城市では、「見る」「癒す」「学ぶ」をテーマに、観光を押し進める方向性を模索中であり、3つの交流体験施設整備、活用にも力を注いでいる。

本観光振興計画では、上記のテーマをもとに、合併した4町村の連携と訪れた人に心に南城市を「感光」させたための具体的施策と実現させるための実行体制のあり方を示すことを主眼としている。

観光振興計画での着地点

癒し・健康をテーマにした環境整備

自然環境の保全と民間、個別・個人の観光開発誘導

合併で多様化した観光施設等の整理・連携

テーマやエリアで結ぶ観光の連携方策

観光拠点作り

今ある拠点（3つの交流体験施設やその他施設等）の魅力づくりのための仕組みやイベント

人・体制づくり

上記を実行するための人、組織、体制づくり

アンケートの趣旨

この着地点を導く上で、観光客に対して調査すべき事項を以下の用に考える。

旧町村の目指す観光の方向性が感じとれたのか

実際に訪れた観光客がどのような印象を持ったのか

再び訪れるために必要なことはなにか

これらの点は、実際に南城市を訪れ、観光施設等を利用した人に聞く必要があるため、南城市内の宿泊施設等を中心に行うことによって把握できる。

また、沖縄県内の観光客層は個人旅行・フリープランが年間平均で70%を占めており、8～9月の夏期シーズンでは、その傾向が強くなる。

そのため、アンケートの実施時期は9月の一定期間に行うことが有効であると考えられる。

このアンケートによって、実際に南城市内に訪れた観光客の旅の目的や南城市のイメージ、実際の印象を把握し、観光振興計画において「見る」「癒す」「学ぶ」観光振興を推進するために必要な取り組みのヒントを導き出すものとする。

また、3つの交流体験施設については、現在南城市として今後の観光振興の柱として取り組んでいるため、実際の利用者の感想等を聞くものとする。

本アンケートは、南城市に訪れる観光客の求める傾向を把握し、南城市の観光の課題や方向性を導くための参考資料となるものである。

従って、本アンケートにより通年的な観光実態を調査するものではない。

また、観光振興計画は、能動的な南城市として方向性を示すものであり、アンケート結果を基に受動的に一過性の流行に応じた観光施策の方向性を導き出すものではない。

南城市に訪れる観光客に関する通年的な傾向は、沖縄県全体の観光実態と同様であると考え、県で行っている観光統計実態調査を参考にまとめるものとする。

実施時期について

ウェルサンピア沖縄・ホテルサンライズ知念電話ヒアリング

- ・10月～11月にかけては修学旅行が多く入ってくる。
- ・8・9月は個人や小グループの観光客が多い。
- ・9月の予約状況としては、後半の連休が多く予約が入っている。

2) 対象施設

宿泊施設

宿泊施設は、落ち着いた時間を過ごせるため、ある程度の設問内容にも回答を行う時間があるため、ある程度の設問数のアンケートを行う。

以下の宿泊施設の宿泊客に対してチェックイン時配布し、チェックアウト時回収という形でアンケートを実施する

ウェルサンピア沖縄（沖縄厚生年金休暇センター）	: 全 53 室
ホテルサンライズ知念	: 全 50 室
安座真ムーンライトテラス	: 全 4 室
久高島宿泊交流館	: 全 8 室

交流・体験施設

交流・体験施設は、新たにアンケート実施箇所として別設問で行うが、他の施設に比べ滞在時間が長いものと予想され、比較的アンケートに答えやすいと考えられる。

しかし、アンケート内容を利用感想に留めるのか、南城市のイメージ設問を加えるか、同種の調査を施設独自で行っていないのかは確認を要する。

以下の施設の利用客に対して、利用後にアンケートを配布し、交流・体験に対する感想等をアンケートする。

がんじゅう駅南城（体験滞在交流センター）

緑の館セーフア（歴史学習体験施設）

ビーチ

ビーチでは、滞在時間が長いため、比較的アンケートに答えやすいと考えられる。

ビーチでは、基本的にヒアリング形式で調査を行い、質問等は3分以内に完了できる設問数とする。

南城市内の主要なビーチである以下の2つのビーチで調査員を配置し、利用客に対してアンケートを行う。

あざまサンサンビーチ

新原ビーチ

その他施設

上記以外で、観光客が訪れ、アンケートに回答する時間が取りやすい施設についてアンケートを設置して調査を行う。

カフェくるくま（仲善）

おきなわワールド文化王国 玉泉洞

3) アンケート形式

宿泊施設

各宿泊施設に協力を依頼（依頼文及び趣旨説明）し、宿泊客に対して以下の形式でアンケート実施することとする。

実施期間：9月15日（土）～9月24日（日）

配布・回収方法：宿泊施設チェックイン時にフロント等より、アンケート協力を依頼し、アンケート用紙を直接手渡し、チェックアウト時に回収する。

配布資料：依頼文+アンケート用紙、ペグシル

交流・体験施設

がんじゅう駅、海の館、緑の館の3施設に対して、訪問者やプログラム体験者に対して、以下の形式でアンケートを実施することとする。

実施期間：9月15日（土）～9月24日（日）

配布・回収方法：各施設の訪問者及び体験者に対して、入館時にアンケートを配布し、退館時に回収する。

配布資料：依頼文+アンケート用紙、ペグシル

ビーチ

2つの主要ビーチの利用客に対して、以下の形式でアンケートを行う。

実施期間：9月23日（日）、9月25日（火）の2日間

配布・回収方法：上記の両日に調査員を各ビーチに2名ずつ配置し、直接ヒアリングを行う。

配布資料：なし

その他施設

各施設に協力を依頼（依頼文及び趣旨説明）し、宿泊客に対して以下の形式でアンケート実施することとする。

実施期間：9月15日（土）～9月24日（日）

配布・回収方法：各施設にアンケートを上記期間設置し、利用終了時に回収する

配布資料：依頼文+アンケート用紙、ペグシル